

子どもの保健

問1

次の文は、平成28年10月1日現在、日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュールに関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

1. インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチンは、生後12か月以降に初回接種をする。
2. 4種混合ワクチン（DPT-IPV）は、生後6か月以降に初回接種をする。
3. 任意接種であるロタウイルスワクチンは、生後2か月から接種する。
4. BCG ワクチンは、アメリカ合衆国と同様にわが国でも任意接種であり、生後12か月以降に接種する。
5. ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンは、女兒を対象として幼児期に2回接種する。

問2

次の文は、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」の（1）「養護に関わるねらい及び内容」の一部である。
（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- 一人一人の子どもが、快適に（ A ）できるようにする。
- 一人一人の子どもが、健康で（ B ）に過ごせるようにする。
- 一人一人の子どもの（ C ）欲求が、十分に満たされるようにする。
- 一人一人の子どもの（ D ）増進が、積極的に図られるようにする。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	生活	安全	身体的	健康
2	生存	活動的	生理的	体力
3	生活	活動的	身体的	健康
4	生活	安全	生理的	健康
5	生存	活動的	身体的	体力

問3

次の文は、子どもによく見られる症状に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 発熱とは、通常の体温（平熱）より高い状態をいうが、多くの場合平熱よりも1.0℃以上高い場合をいう。
- B 嘔吐とは、胃の内容物が勢いよく口から吐き出されることである。
- C 下痢とは、泥状あるいは水様の便が出ることをいい、多くの場合食欲はある。
- D けいれんとは、全身の筋肉が発作的に収縮することをいう。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問4

次の文は、「2012 年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」（厚生労働省）の一部である。
 （ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

ウイルスや細菌などゝの（ A ）がゝ宿主（人や動物などゝ）の体内に侵入し、発育又は増殖することを

「（ B ）」といい、その結果、何らかの臨床症状がゝ現れた状態を「（ C ）」といいます。（ A ）

がゝ体内に侵入してから症状がゝ現れるまでゝにはある一定の期間がゝあり、これを「（ D ）」といいます。

（ D ）は（ A ）によって異なり、乳幼児がゝかかりやすい（ C ）の（ D ）を知っておくことが必要です。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	感染源	感染	感染症	孵卵期間
2	病原体	感染	発症	潜伏期間
3	病原体	感染症	発症	潜伏期間
4	感染源	感染症	発症	孵卵期間
5	病原体	感染	感染症	潜伏期間

問5

次の文は、幼児の肥満に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

1. 肥満の判定に用いる肥満度（%）は、幼児の体重と標準体重から導き出す。
2. カウプ指数は、「体重」と「身長²」の値を用いて導き出す。
3. 食べすぎと運動不足は、肥満の主な要因となる。
4. 肥満の解消に重要なのは、カロリー摂取制限によって体重を減らすことである。
5. 親の肥満傾向は、子どもの肥満に影響すると考えられている。

問6

次のうち、「母子保健法」で定められていないものを一つ選びなさい。

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 新生児訪問指導 |
| 2 | 予防接種 |
| 3 | 健康診査 |
| 4 | 保健指導 |
| 5 | 母子健康手帳の交付 |

問7 次のうち、保育所が子どもの健康の保持・増進のために整備すべき養育環境として、不適切なものを一つ選びなさい。

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 子どもが身体を十分に動かし、のびのびと行動できるようにする。 |
| 2 | 災害時に安全に避難できるようにする。 |
| 3 | 危険な場所がなく、安全に過ごせるようにする。 |
| 4 | 決まりを守り生活習慣が身に付けられるよう学べる。 |
| 5 | 危険を回避するため戸外遊びを控え、室内で遊べるようにする |

問8

次の文は、子どもの健康と環境に関する記述である。（ A ）～（ D ）にあてはまる適切な語句の組み合わせを一つ選びなさい。

子どもを取り巻く家庭、社会、自然といった環境は、子どもの生活に（ A ）に関わって、子どもの健康や発達に影響を与えている。

保育所では、仲間と一緒にできる、お手本がある、励まし合えるといった、（ B ）であることによるメリットを生かした積極的な教育が可能である。

通常の条件下では危険ではないが、何らかの条件の変化で危険となって現れる危険を（ C ）という。

調理室やトイレ、手洗い場は（ D ）の観点で、特に清潔の維持を意識した工夫、清掃、管理が必要になる。

1	A:相互的	B:集団	C:潜在危険	D:感染予防
2	A:一方向的	B:個人	C:潜在危険	D:事故予防
3	A:相互的	B:集団	C:顕在危険	D:感染予防
4	A:一方向的	B:個人	C:顕在危険	D:事故予防
5	A:相互的	B:個人	C:潜在危険	D:感染予防

問9

次のA～Dのうち、子どもということばに関する説明を示したものとして、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「母子保健法」による新生児とは、出生後 30 日を経過しない乳児をいう。
- B 「母子保健法」による乳児とは、1 歳に満たない者をいう。
- C 「母子保健法」による幼児とは、満 1 歳から小学校就学前までをいう。
- D 「児童福祉法」による児童とは、満 18 歳に満たない者をいう。

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問10 保育所の重大事故における対応として、子どもが意識を失って倒れていた場合、次のうちから適切なものを一つ選びなさい。

- 1 心臓マッサージを大人の場合の倍の速さで行った。
- 2 胸部に吐物が付着していたが、蘇生を急ぐべきと考え、AED の電極をそのまま貼った。
- 3 意識を失って倒れている子どもに駆け寄りながら、大声で人を呼んだ。
- 4 近くに人がいなかったので、AED をとりに、その場を離れた。
- 5 保護者への連絡は状況が落ち着くまで控えた。